

## 令和2年度

### 劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

### 成果報告書

団 体 名	公益財団法人神奈川芸術文化財団	
施 設 名	神奈川県立音楽堂	
助成対象活動名	公演事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	30,710	(千円)
	公演事業	20,027 (千円)
	人材養成事業	0 (千円)
	普及啓発事業	10,683 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	Toshi 伝説 一柳慧芸術総監督就任20周年記念「エクストリームLOVE」	2021年3月20日	演目：「一柳慧のためのブルー・オーロラ」、高橋悠治：花筐より水、一柳慧：ピアノ音楽第1～第7ほか 出演：成田達輝(ヴァイオリン)、本條秀慈郎(三味線)、河合拓始(ピアノ)ほか	目標値	630
		神奈川県立音楽堂		実績値	489
2	音楽堂室内オペラ・プロジェクト バロック・オペラ ヘンデル「リナルド」セミステージ形式	2020年10月31日※	※新型コロナウイルス感染症の影響により出演者変更。鈴木優人(指揮・チェンバロ)、バッハ・コレギウム・ジャパン(管弦楽)、藤木大地(カウンターテナー)森麻季(ソプラノ)ほか	目標値	860
		神奈川県立音楽堂		実績値	724
3	音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ(全5公演)	2020年4月26日※、10月3日※、19日※、2021年1月30、31日※	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。10月3日クロス・クアルテットは代替イベントを実施。	目標値	3,250
		神奈川県立音楽堂		実績値	103
4	東京混声合唱団「合唱で楽しむオペラ！」	2021年2月12日※	※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程出演者の変更。キハラ良尚(指揮)、山田和樹(映像での出演)、東京混声合唱団(合唱)	目標値	780
		神奈川県立音楽堂		実績値	196

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
1				目標値	
				実績値	
2				目標値	
				実績値	

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

### (3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	音楽堂オープンシアター 音楽×建築×アートでお正月	2021年1月6日※	※新型コロナウイルス感染症の影響により日程変更、及び一部中止し、収録動画を配信。ザ・プー(テルミン、ギター)、久保田リョウヘイ(ハンドパン)ほか	目標値	700
		神奈川県立音楽堂		実績値	59
2	三ツ橋敬子のオーケストラ大好き!	動画配信	※新型コロナウイルス感染症の影響により、公演を中止し動画配信に変更。三ツ橋敬子(指揮) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)	目標値	790
		神奈川県立音楽堂		実績値	—
3	第55回音楽堂クリスマス音楽会 ヘンデル作曲オラトリオ「メサイア」全曲演奏会	動画配信	※新型コロナウイルス感染症の影響により公演は中止。ソリストによる歌唱とコメントによる動画を配信。小泉ひろし(指揮) 山口清子(ソプラノ)、上杉清仁(カウンターテナー)ほか	目標値	930
		神奈川県立音楽堂		実績値	—
4	子どものためのアウトリーチ	2020年11月~2021年 2021年3月※	新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止、一部オンラインに変更。丸田美紀(箏)、彌勒 忠史(カウンターテナー) 若鍋久美子(打楽器)ほか	目標値	1,200
		横浜市立小学校 他		実績値	176
5	音楽堂地域活性化・館利用促進事業	2020年8月~2021年 2021年2月※	※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止。田中泰(ナビゲーター)、江口玲(ピアノ)ほか	目標値	3,500
		神奈川県立音楽堂		実績値	358

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、数々の事業が中止や内容の変更を余儀なくされたが、その中でキャスト変更、映像の活用、舞台上の人数制限など可能な限り対策を講じて事業を実施した。</p> <p>◎公演事業：音楽堂室内オペラ・プロジェクトの令和2年度は国内外での活躍が目覚ましい鈴木優人の指揮によるヘンデル「リナルド」をセミステージ形式で上演した。コロナ禍でキャストを海外勢から日本人に替え、距離に配慮した演出だったが歌手たちの制限を感じさせないストーリー展開、舞台セット等により音楽的にも視覚的にも見ごたえのある公演になり、高い評価を得た。音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズは、4公演で出演者が来日できず中止を余儀なくされたが、クロノス・クアルテットは共演を予定していた合唱団との日米遠隔共演映像を制作し、公開上映と配信に変更して実施し、コロナ禍だからこそその試みに挑戦できたのは大きな成果であった。東京混声合唱団は、合唱の人数制限のハードルを演出でカバーし、新曲を豊かな表現力で歌いあげ好評を博した。一柳慧芸術総監督就任20周年を記念したToshi 伝説「エクストリーム LOVE」では一柳の歩みを3つのテーマに分け、実験音楽、クラシック、邦楽、と広く文化に興味を持つ方が集える室内楽公演と関連企画を実施し、戦後のわが国の芸術のテーゼの一端を俯瞰する公演になった。</p> <p>◎普及啓発事業：オープンシアターでは、コロナ禍での厳しい条件の中、日本、アジア、世界という当初のテーマのもとにお囃子や箏、獅子舞といったお正月らしいプログラムのほか、アラブの楽器ウードや、ロシアの電子楽器テルミンなど稀少な楽器によるパフォーマンスを、リアルでのイベントと動画配信とのダブルで展開し、安心して楽しんでいただける設定にした。三ツ橋敬子のオーケストラ大好き！は、公演は中止になったが、オーケストラの魅力が伝わる動画を3本立てで収録、さらに楽器紹介動画も作成。広く無料配信したほか神奈川県内すべての小学校へ収録DVDを配布し、子どもたちへの音楽文化の発信を継続することができた。クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会は公演は中止したが、ソリストたちによる歌唱と応援メッセージによる動画を作成し、無料配信したことで大きな反響があり、次年度への継続に貢献した。子どものためのアウトリーチ事業は、横浜市内の小学校には予定通り実施し、県内の特別支援学校には、5G技術を活用して障害を持つ子どもたちと双方向コミュニケーションを行い、最新技術を活用しコロナ禍を克服する大きな挑戦ができた。音楽堂地域活性化・館利用促進事業ではいずれも以前より好評の前川建築見学ツアーと来場者のためのシャトルバスを予定通り実施した。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> <p>文化的意義：伝統ある音楽ホールとして、芸術性の高い公演から県民が広く親しむことができる多種多様なジャンルの公演までを幅広く行い、コロナ禍においても、規模や内容の変更など工夫をこらして何らかの形で実施することで、県民が継続して音楽に触れる機会を提供した。</p> <p>社会的意義：室内オペラや芸術総監督の周年記念の公演など、当館の特性を生かし独自のプログラムを組んだものについては、高い集客率を達成し、演奏、脚本、演出など日本の音楽文化の担い手のレベルの高さを示してマスコミにも多く取り上げられ高評価を得ることができた。動画配信など内容を切り替えた事業についても工夫をこらした内容に多くの反響が寄せられ、感染症予防対策のガイドラインをきちんと守りながら活動を続けることで、社会活動の中で音楽が必要であることを広く周知した。</p> <p>経済的意義：支援により、受益者負担となるチケット料金を高額にすることなく多彩な事業を実現でき、一方、国内の音楽事務所、演奏家、オーケストラ、NPO等の音楽関連事業者、デザイナー、カメラマン、印刷会社等の広告関連事業者、多彩な方面への経済波及効果があった。</p>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

#### ●公演事業

①「ヴィルトゥオーゾ・シリーズセット券（4企画5公演）」の広報と販売を早期、積極的に行い、一人の聴衆が様々な演奏を楽しめるよう促進する。セット券購入者が各公演購入者の5%を達成する。[平成31年度平均実績：3.9%]

→5公演のうち4公演中止、1公演は代替企画実施のため計測不可

②普及啓発事業「音楽堂地域活性化・館利用促進事業」との連動で、建築見学ツアー、トークカフェ、インターンシップ等の関連企画を各公演に付随して行い、年間のそれらの参加者がのべ170人以上を達成する。[のべ132名]

建築見学ツアーのみ実施し、ほかの関連企画はすべて中止もしくはオンライン配信併用になったため正確な計測不可

③公演来館者へのアンケートにて「室内楽をより多彩に楽しめたか」「音楽堂の魅力に気づいたか」「街の魅力に気づいたか」等の質問を行い、「楽しめた」「気づいた」という肯定的回答70%以上を達成する。[平均90%] =達成 \*但し8公演中4公演中止のため限定的計測

④全公演の有料販売枚数が有効座席数の78%以上を達成する。[42%] =未達成

8公演中4公演中止のため正確な計測不可

#### ●普及啓発事業

①各プログラムの参加者へのアンケートを行い、「音楽体験が楽しかった」「楽しかった」「どちらかといえば楽しかった」=92%を維持する。→1公演のみ実施のため計測不可

②「楽しかった」だけでなく、「これからも音楽体験をしてみたいと思った」という音楽への積極的な興味関心が高まったとみられる回答が7割以上を達成するようにする。→1公演のみ実施のため計測不可

③歴史ある音楽堂といっても、新しい文化施設も多くなった近年は若年層や神奈川県央部等では必ずしも県立音楽堂の認知度は高くないため、プログラムを通じて「音楽堂に関心をもった」「音楽堂に（また）訪れたいと思った」といった音楽堂への関心、信頼が高まったと見られる回答が5割を達成するようにする。→1公演のみ実施のため計測不可

④普及啓発事業は、事業としてのスキームは継続に意味があり、新規性を求めるものではないが、発展性も求めるため、各事業必ず「昨年度までと違うオリジナルな取り組み」を1件以上は達成するようにする。

→ [3件]達成

⑤特に、幼児、家族、小中学生や高校生等の子どもたちへの働きかけでは、都市部特有の多文化共生社会の実現にむけて、積極的に多言語サポーターの取入れや、外国籍の子どもたちへの働きかけ、障害のある子どもたちへの働きかけを行う。これらの取り組みが、5プログラムで5件以上になるようにする。

→1公演のみ実施のため計測不可

⑥トークカフェや、公演前後の街なか飲食店利用等、公演への来場者の街なかスポットへの浸透が図れるよう努力する。それらの近隣セクター、店舗等との協力・提携件数を令和2年度に7件以上達成する。→新型コロナウイルス感染症の影響により実施不可

総括：コロナ禍において従来とは異なる形になっても、継続して活動を行うことで様々な反響を得ることができ、改めて芸術文化活動の必要性、公共ホールの使命を認識した。特に普及啓発事業の分野ではインクルーシブ対応に力を入れ、誰もが訪れたいようなホールを目指していきたい。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### ◎事業期間（中止公演を除く）

<Toshi 伝説 一柳慧芸術総監督就任 20 周年記念 「エクストリーム LOVE」>

3 月 20 日公演(1 回公演) : 計 1 日間

<音楽堂室内オペラ・プロジェクト「リナルド」>

10 月 31 日公演(1 回公演) : 計 1 日間

<音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ（全 5 公演）> うち 4 公演中止、1 公演は代替イベントを実施

10 月 3 日 : 計 1 日間

<東京混声合唱団「合唱で楽しむオペラ！」>

2 月 12 日公演（1 回公演） : 計 1 日間

<音楽堂クリスマス音楽会「メサイア」>

9 月 4 日収録(動画配信) : 計 1 日間

<オープンシアター 音楽×建築×アートでお正月>

1 月 6 日本番・収録(1 回公演) : 計 1 日間

<三ツ橋敬子のオーケストラ大好き！>

8 月 24~26 日収録(動画配信) : 計 3 日間

<子どものためのアウトリーチ>

11 月 18 日/11 月 25 日/3 月 5 日 : 計 3 日間

<音楽堂地域活性化・館利用促進事業>

前川建築見学ツアー 9 月 12 日 1 回/11 月 2 日 2 回/2 月 7 日 2 回 : 計 3 日間

街なかトークカフェ 7 月 10 日収録/10 月 3 日 : 計 1 日間(ヴィルトゥオーゾシリーズ 10 月 3 日と併催)

来場者のためのシャトルバス 10 月 3 日/10 月 31 日/2 月 12 日/3 月 20 日 : 計 4 日間

現地での打ちあわせ、会場下見、準備等を除いて上記延べ 16 日間の事業開催日数となった。

#### ◎事業費

申請した事業全般において新型コロナウイルスの影響により中止・変更になった公演を除き、概ね計画通りに進んだ。

支出・収入総額実績 [バリアフリー・多言語対応/助成対象外経費含む]

公演事業 33,414 千円（当初予定額 68,899 千円）普及啓発事業 12,328 千円（当初予定額 29,958 千円）

・最も大きな支出項目は出演費であった。金額の大きかった主な出演者は下記の通り。

<音楽堂室内オペラ・プロジェクト「リナルド」> 演奏料

<三ツ橋敬子のオーケストラ大好き！> 三ツ橋敬子指揮神奈川フィルハーモニー管弦楽団

<東京混声合唱団「合唱で楽しむオペラ！」> 東京混声合唱団

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

全国で最も古い公立の音楽専用ホールとして、歴史的建造物としての価値と、神奈川県民が高度な音楽芸術に触れる中核拠点として65年以上を通して機能してきた歴史を持つ神奈川県立音楽堂のブランドイメージに即して、音楽事業としての上質性、本物志向を担保することに留意した。

また同時に、平成6年に設立され、オペラ、バレエ、コンテンポラリー・ダンス、現代音楽、現代美術等の幅広い芸術ジャンルにわたって第一線のアーティスト、作品の鑑賞機会を県民に提供し、若手を含む多様なアーティストへの委嘱新作や複合的な芸術ジャンルのコラボレーションを含む前衛的プロジェクトへの取り組みも継続してきた公益財団法人神奈川芸術文化財団の企画・制作力、幅広いネットワークを活用することに留意した。

結果として、公演事業、普及啓発事業いずれも、出演したアーティストの創造性、独創性を存分に生かした芸術的取組みへの挑戦が実現し、コロナ禍においても、その状況を逆手にとって新たな取り組みに挑戦するなどの実績を重ねることができた。

特に創造性が認められた主な取組みは以下の通り。

<Toshi 伝説 一柳慧芸術総監督就任20周年記念 エクストリーム LOVE>

- ・戦後日本を代表する一柳慧の音楽の歩みを通して戦後日本の芸術のテーゼを俯瞰する公演
- ・クラシック、邦楽、現代音楽と3つのジャンルを横断的に楽しめる多彩な演奏プログラム
- ・クロストークや体験型インスタレーション・エレクトロニクス卓球台の展示など充実したホワイエプログラム

<音楽堂室内オペラ・プロジェクト>

- ・芸術性、実績とも世界レベルのバロックオーケストラによるヘンデルの名作の演奏
- ・日本人歌手の起用による日本のオペラ界の水準向上への寄与

<音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ>

- ・世界最高レベルの弦楽四重奏団と地域の合唱団による遠隔映像共演という新しい試みの実現

<三ツ橋敬子のオーケストラ大好き！>

- ・特殊効果やアニメーションなど映像ならではの強みを活かした実現したオーケストラの魅力が十分に伝わる動画作成
- ・豊かな音楽教育の補助になるよう、神奈川県内の全小学校へDVD配布

<東京混声合唱団「合唱で楽しむオペラ！」>

- ・壮大なオペラ「ナブッコ」を合唱曲で綴り、新たな視点からオペラの魅力を捉えるプログラム
- ・日本で最高峰のレベルを誇る合唱団だからこそその豊かな演劇性と音楽性を備えたミニオペラの新作世界初演

<音楽堂オープンシアター 音楽×建築×アートでお正月>

- ・コロナ禍においても誰もが安心して参加できる、リアルイベントと動画配信のハイブリッド形式での開催
- ・箏やお囃子など日本の楽器から、アラブ、ロシア、スイスなど日頃なかなか接する機会のないアジアや世界の楽器によるパフォーマンス
- ・アーティストによる建物へのライブペインティングを通じた音楽とアートの融合をはかるプログラム

<子どものためのアウトリーチ>

- ・5Gを活用した対面での授業が難しい特別支援学校へのアウトリーチ授業の実現

## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

新型コロナウイルス感染症の影響により、聴衆や地域住民が自ら参加できるプログラムの実施や、地元の実演家やスタッフを起用することにより、限られた条件の中で継続して市民地域の文化芸術振興の向上へ寄与した。主な取り組みは下記の通り。

<Toshi 伝説 一柳慧芸術総監督就任 20 周年記念 エクストリーム LOVE>

- ・高校生以下無料の「一柳シート」の設定

<ヴィルトゥオーゾ・シリーズ>

- ・神奈川県下で活動する、やえ山組合唱団の起用

<三ツ橋敬子のオーケストラ大好き！>

- ・神奈川フィルハーモニー管弦楽団の起用
- ・神奈川県内のすべての公立、私立、国立小学校ならびに在日外国人向け小学校へのDVD配布

<音楽堂地域活性化・館利用促進事業>

- ・前川國男建築の魅力を伝えるボランティアグループ bridge による建築見学ツアーの実施
- ・横浜市営バス借り上げによる来場者のためのシャトルバス運行

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

組織活動の持続的に発展し、音楽堂機能を強化するため、以下の取り組みを総合的に行っている。

#### (1) 関係者ネットワークの強化

- ・関係団体（県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会等）に積極的に関わり、研修に参加したり、運営ノウハウの共有や相互の人材交流などを積極的に行っている。
- ・インターンシップの実施や、公演の関連企画等を通して教育機関との連携を図っている。

#### (2) 財源の多様化

- ・手厚いホスピタリティを実現し、長年継続して利用していただくことで、利用料金収入の安定化を図り、効果的な劇場運営に努めている。
- ・寄付金集めの専従担当者を置き、県内の企業及び個人を中心に賛助会員組織を運営しているほか、インターネットを通じた小口寄付の仕組みを整備し、寄付者の拡大を図っている。

#### (3) 評価と改善

- ・設置者が行う専門家による外部評価のほか、法人独自の外部評価の仕組みを整備し、専門委員による視察と評価会議を開催し、課題抽出と業務改善を行っている。
- ・外部委員と財団職員による検討会を設置して、施設運営についての理念やミッション等をまとめたビジョンを新たに作成し、職員の行動指針として共有していくこととしている。

#### (4) 人材育成

- ・組織力強化のため、キャリアアップを見据えた人事配置を行い、事業運営・施設運営・経営に強い人材育成を促進している。また外部からの研修生を積極的に受け入れ、業界全体の底上げに付与するだけでなくネットワークの強化にも努めている。